

平成31年度 当初予算案のポイント

未来を拓く ^{ひら} 文教住宅都市・西宮
～ 憩い、学び、つながりのある美しいまち ～

西宮市

目次

平成31年度 西宮市当初予算案の全体像 . . . 2

1. 住環境・自然環境 . . . 3

- ・西宮浜総合公園整備事業
- ・J R 西宮駅南西地区市街地再開発事業
- ・武庫川広田線整備事業（中津浜線以東～瓦木なかの道）
- ・丸山線整備事業
- ・阪急武庫川新駅設置事業

2. 子供・教育 . . . 5

- ・認可外保育施設利用料補助事業
- ・病児保育事業
- ・民間保育所等整備事業
- ・生瀬小学校区教育・保育施設整備事業
- ・不登校児童生徒の適応指導教室の再編・拡充事業
（鳴尾北幼稚園休園施設の活用）
- ・西宮浜小中一貫教育推進事業
- ・インクルーシブ教育システム構築事業
- ・生徒指導事業（スクールソーシャルワーカー）の拡充
- ・学校施設の長寿命化改修事業
- ・学校体育館空調設置環境分析調査業務
- ・香櫨園小学校教育環境整備事業
- ・春風小学校教育環境整備事業
- ・瓦木中学校教育環境整備事業
- ・留守家庭児童対策施設整備事業
- ・地域子育て支援事業の充実
- ・公立保育所改築等整備事業
- ・保育士確保事業
- ・西宮養護学校校舎改築事業
- ・安井小学校教育環境整備事業
- ・西宮型コミュニティ・スクール事業
- ・放課後子供育成総合プラン推進事業

3. 福祉・健康・共生 . . . 15

- ・助産師による産後ケア訪問等事業
- ・緊急通報救助事業（見守りホットライン事業）
- ・西宮市共生型地域交流拠点運営等補助事業
- ・障害者理解促進事業
- ・生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業等の拡充
- ・統合新病院整備事業
- ・福祉人材確保養成対策事業

4. 都市の魅力・産業 . . . 18

- ・市民ホール等改修事業
- ・市民ホール管理運営基本計画検討業務
- ・新体育館・新陸上競技場等整備事業
- ・プレミアム付商品券事業
- ・卸売市場再生整備事業
- ・キャッシュレス化等対策事業

5. 環境・都市基盤、安全・安心 . . . 21

- ・じんかい収集事業（委託地区の拡大）
- ・西部工場解体整備事業
- ・街路事業
- ・阪急電鉄神戸本線連続立体交差検討事業
- ・西宮市地域防災計画等改定事業
- ・西宮市地域避難支援制度における補償制度構築事業
- ・防災情報システム整備事業
- ・西宮消防署建替事業
- ・自転車利用環境改善計画策定事業
- ・防災力強化事業

6. 政策推進 . . . 26

- ・市民館建替事業
- ・業務効率化検討事業
- ・建築系公共施設個別施設計画策定事業
- ・第二庁舎（危機管理センター）整備事業
- ・システム操作自動化ツール（R P A）導入による業務改善事業
- ・（仮称）越木岩センター整備事業

※平成31年度を初年度とする第5次西宮市総合計画基本計画における施策体系に沿って記載しています。

平成31年度 西宮市当初予算案の全体像

平成31年度当初予算規模は、下表のとおりです。幼児教育の無償化の実施や保育所等の待機児童対策、学校園の建替えや改修などにより、子育て支援や教育関係の予算が大幅な増となっています。一般会計は3年連続の増となり、阪神・淡路大震災直後の平成7年度を除くと過去最大の規模となっています。

各会計予算規模

(単位 千円)

区分	H31	H30	増減額	増減率
一般会計	184,073,481	178,056,028	6,017,453	3.4%
特別会計	87,632,903	87,852,202	△219,299	△0.2%
企業会計	47,466,776	46,605,259	861,517	1.8%
計	319,173,160	312,513,489	6,659,671	2.1%

<当初予算案のポイント>

- 「文教住宅都市・西宮」の魅力を未来へと引き継ぐため、次のことに重点配分しました
- ・待機児童対策をはじめとした喫緊の課題への対応
 - ・これまで検討を重ねてきた事業を中心に、第5次総合計画を着実に推進
 - ・長期的に合理的な行政経営を行うための取組

1. 住環境・自然環境

● 西宮浜総合公園整備事業

継 続

H31予算

433,218千円

平成2年に都市計画決定した都市公園であり、多目的人工芝グラウンドやスポーツ広場があります。平成30年度には駐車場やトイレの整備を行いました。また、民設民営の公園施設の整備も検討しています。

○事業内容

「海のプロムナード公園」・「にぎわいのレクリエーション公園」・「安心・安全の公園」・「市民協働の公園」を基本理念とする、都市計画公園である西宮浜総合公園(10.3ha)を整備する。

- ・平成31年度：公園センター整備等



西宮浜総合公園基本設計平面図

● J R 西宮駅南西地区市街地再開発事業

継 続

H31予算

104,029千円

老朽木造建物が密集している当地区において、緊急輸送道路である国道2号の機能を確保するためにも、沿道建築物の不燃化、耐震化は喫緊の課題です。

市場施設の機能更新と防災性の向上を図るとともに、都市核にふさわしい、にぎわいと魅力ある都市空間の形成を目指しています。

○事業内容

卸売市場再生整備事業を含む組合施行のJ R 西宮駅南西地区市街地再開発事業について、地元関係者とともに事業推進に取り組む。

- ・平成31年度：市街地再開発組合設立認可



イメージ

● 武庫川広田線整備事業（中津浜線以東～瓦木なかの道）

継 続

H31予算

131,200千円

武庫川広田線は、通勤通学の歩行者や自転車等が多数通行しており、通学ルート、路線バスルートにもなっています。部分的な整備は行われているものの、道路幅員が狭く、歩道も連続していないため、歩行者の安全確保並びに車両の円滑な通行のための整備を進めています。

○事業内容

都市計画道路武庫川広田線の未整備区間のうち、中津浜線以東～瓦木なかの道以西について、整備に向けた用地買収等を行う。

- ・平成31年度：用地買収、物件補償等

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・215,898千円（H33）



● 丸山線整備事業

継 続

H31予算

5,000千円

丸山線は、山口地区における幹線道路のネットワークを形成するうえで重要な路線であり、整備により周辺道路の交通渋滞緩和や歩道等の整備による安全な歩行者空間が確保できます。

○事業内容

都市計画道路丸山線について、未整備区間の早期整備を図るとともに整備手法や道路整備とあわせた周辺まちづくりを検討することで、山口地区の活性化や交通利便性の向上を図る。

- ・平成31年度：基本設計

● 阪急武庫川新駅設置事業

継 続

H31予算

1,000千円

瓦木地区の公共交通の利便性向上や周辺地域の活性化を図るため、兵庫県・尼崎市・阪急電鉄・本市の4者による新駅設置の協議を続けています。

○事業内容

阪急神戸本線の武庫川橋梁部等において新駅設置に向けた検討を進める。

- ・平成31年度：検討業務

2. 子供・教育

● 認可外保育施設利用料補助事業

拡 充

H31予算

79,848千円

平成28年度から3か年で約1,500人の保育定員枠拡大に取り組んでいますが、急激な保育需要の増加に対応するため、やむを得ず認可外保育施設を利用する保護者の負担軽減を図ります。

○事業内容

認可保育所等を申込みしたが入所できず利用保留となった世帯が、やむを得ず認可外保育施設を利用する場合、児童の年齢に関わらず、利用料の一部を補助する。



※写真はイメージです。

● 地域子育て支援事業の充実

拡 充

H31予算

160,643千円

身近な地域で気軽に子育て世帯の交流や相談ができる環境づくりを推進するため、市内20か所の子育てひろば、4か所の利用者支援事業（子育てコンシェルジュ）の整備を平成31年度までの計画目標としています。

○事業内容

市内21か所目となる子育てひろばを香櫨園小学校内に整備するほか、4か所目となる利用者支援事業（子育てコンシェルジュ）のJ R神戸線以南の地域での整備を目指す。

また、子育てひろばのない地域では、移動児童館の拡充を図る。

● 病児保育事業

拡 充

H31予算

92,320千円

現在は市内4施設で実施していますが、実施施設の増加に向けて取り組んでいます。

○事業内容

病気やけが等で集団保育が困難な生後6か月から小学校6年生までの児童を病院・保育所等で一時的に保育する病児保育事業を実施する。また、ベビーシッターの派遣による病児・病後児の保育サービスの利用に対して助成を行う。

・平成31年度：4月に1施設開設予定。実施施設に対して、市独自の補助として実施している利用児童ひとり当たり1,000円の補助を2,500円に増額する。

● 公立保育所改築等整備事業

継 続

H31予算

154,056千円

耐震診断の結果を踏まえ、該当する施設については、順次、移転や建替え、改修工事などを進めています。

○事業内容

入所児童の安全確保を図るため、耐震診断の結果をもとに施設改修等を実施する。

- ・平成31年度：北夙川保育所移転建替工事等

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・23,087千円（H32）
- ・498,884千円（H32）
- ・191,065千円（H32-H43）



北夙川保育所現況

● 民間保育所等整備事業

継 続

H31予算

1,538,707千円

保育の必要な子供の増加に対応するために、保育所等の受入れ枠拡大に取り組んでいます。

○事業内容

待機児童の解消に向けて、保育所・幼保連携型認定こども園を整備する社会福祉法人等に対し、施設整備費を補助することにより、平成32年4月に向けて約250人の定員増を図る。

また、定員拡大や耐震化を目的として保育所の建替え等を実施する法人に対し、整備費用を補助する。



平成31年4月開園予定の民間保育所イメージ

● 保育士確保事業

拡 充

H31 予算

161,230千円

民間保育所等の保育士確保及び定着のための支援事業を積極的に行っています。新たに、保育士の業務負担の軽減を図ります。

○事業内容

民間保育所等の保育士確保に向けた就職説明会の実施や、保育士用の宿舍借り上げ費用への補助を行う。また、新規採用保育士に対して奨学金返済費用及び資格取得費用の一部を補助する。

平成31年度からは民間保育所等に対し、保育に係る周辺業務を行う保育支援者を活用するために要した費用の一部を補助する。



平成30年度保育士就職フェア

● 生瀬小学校区教育・保育施設整備事業

新規

H31予算

14,003千円

生瀬小学校区には3～5歳児を受け入れる保育施設がなく、保育施設として活用可能な土地が限られていることも課題となっていたため、平成32年度に生瀬幼稚園を生瀬小学校内に移転し、平成33年4月に当該跡地での保育施設の開設を目指します。

○事業内容

現在の生瀬幼稚園の施設を保育所あるいは認定こども園として利用するため、生瀬幼稚園を生瀬小学校内に移転整備する。

- ・平成31年度：園舎建設のための整備

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・152,130千円（H32-H42）



生瀬幼稚園現況

● 不登校児童生徒の適応指導教室の再編・拡充事業 （鳴尾北幼稚園休園施設の活用）

新規

H31予算

57,027千円

不登校児童生徒に対する支援については、対象児童生徒の増加と共に、多人数のクラスになじめない児童生徒への対応など、一人ひとりの状況に応じた支援が課題となっています。

○事業内容

鳴尾北幼稚園休園施設を活用して2か所目の適応指導教室を整備し、より学校に近い環境で社会復帰や学校復帰を目指した教育的な支援を行う「あすなる学級」とするとともに、こども未来センターの適応指導教室は、福祉的・医療的なサポートが必要な児童生徒のために少人数クラスで個々の状況に応じた支援を行う「（仮称）プレあすなる学級」として位置づけるなど、適応指導教室の再編・拡充を図る。



鳴尾北幼稚園現況

● 西宮浜小中一貫教育推進事業

新規

H31予算

44,957千円

児童生徒数が減少傾向にある西宮浜小・中学校において、西宮型小中一貫教育を発展させた、より魅力ある学校づくりを進めます。

平成32年度に総合教育センター付属の小・中一貫校（義務教育学校）として開校することを目指します。

○事業内容

西宮浜小・中学校を一貫校化し、特色ある学校づくりを進める等、教育環境の維持・向上を図る。

・平成31年度：各種システム等改修作業・総合教育センターの一部機能移転に係る教室改修工事等



西宮浜中学校・小学校現況

● インクルーシブ教育システム構築事業

拡充

H31予算

279,514千円

障害のある子供に、十分な教育を受けるための合理的配慮の提供ができるよう、支援体制の構築に取り組みます。

○事業内容

合理的配慮の基礎となる環境整備において、介助支援員、保育支援員の配置など障害の状態に応じた専門性のある支援体制の構築を行う。

● 生徒指導事業（スクールソーシャルワーカー）の拡充

拡充

H31予算

20,941千円

学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、スクールソーシャルワーカーが専門的知識・技能を活かして子供の置かれた環境に働きかけ、必要な支援を行うことが必要となっています。

○事業内容

スクールソーシャルワーカーを全中学校区に配置し、学校・家庭・地域の関係機関をつなぎ、子供の悩みや抱えている問題解決に向けた支援ができる環境を整える。

● 学校施設の長寿命化改修事業

継 続

H31予算

1,802,372千円

平成30年度に策定した「西宮市学校施設長寿命化計画」に基づき、安全性を確保しつつ、効果的・効率的に改修工事を進めます。

○事業内容

西宮市学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の安全性の確保と機能向上を図るため、外壁改修、屋上防水、トイレ改修等の各種改修を行う。

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

・76,120千円（H32）



改修後の校舎

● 学校体育館空調設置環境分析調査業務

新 規

H31予算

5,132千円

平成30年夏の記録的な猛暑を踏まえ、学校体育館における空調設備や温度管理の手法等について、検討を進めます。

○事業内容

小・中・高等学校体育館の空調設備について、運用面のソフト対策も含めた検討を行うに当たり、空調を設置する場合の冷暖房能力や様々な温度管理の方策など、技術面における条件を整理するための調査を行う。

● 香櫨園小学校教育環境整備事業

継 続

H31予算

2,263,068千円

校舎の老朽化、教室不足や運動場不足などの課題を解消するため、昭和30年代に建築された校舎の改築を進めています。平成31年度の夏に、新校舎が竣工する予定です。

○事業内容

香櫨園小学校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築を行う。

- ・平成31年度：校舎改築工事竣工、外構整備・渡り廊下等改修工事

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・23,738千円（H32）



香櫨園小学校改築イメージ

● 西宮養護学校校舎改築事業

継 続

H31予算

931,096千円

校舎の老朽化や教室不足、重度化・重複化している障害に十分な対応が出来ていない施設環境などの課題を解消するため、昭和30年代に建築された校舎の改築を進めています。平成31年度から工事に着手し、平成33年度の夏に新校舎が竣工する予定です。

○事業内容

西宮養護学校の老朽校舎の解消と児童・生徒の状況に適した教育環境を整備するため、校舎の改築を行う。改築場所は現地とし、工事中は旧尼崎養護学校へ仮移転する。

- ・平成31年度：旧尼崎養護学校へ仮移転、既存校舎解体、校舎改築工事着工

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・3,775,600千円（H32-H33）



西宮養護学校改築イメージ

● 春風小学校教育環境整備事業

継 続

H31予算

878,849千円

校舎の老朽化、教室不足や運動場不足などの課題を解消するため、昭和30年代に建築された校舎の改築を進めています。平成31年度から工事に着手し、平成32年度の冬に新校舎が竣工する予定です。

○事業内容

春風小学校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築を行う。

- ・平成31年度：校舎改築工事着工

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・3,139,630千円（H32-H33）



春風小学校改築イメージ

● 安井小学校教育環境整備事業

継 続

H31予算

106,973千円

校舎の老朽化、教室不足や運動場不足などの課題を解消するため、昭和30年代に建築された校舎の改築を進めています。平成33年度から工事に着手し、平成35年度から新校舎が稼働する予定です。

○事業内容

安井小学校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築を行う。

- ・平成31年度：実施設計完了

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・510,840千円（H32-H34）



安井小学校現況

● 瓦木中学校教育環境整備事業

継 続

H31予算

44,248千円

校舎の老朽化や教室不足などの課題を解消するため、昭和30年代に建築された校舎の改築に向けた取組を進めています。

○事業内容

瓦木中学校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築及び長寿命化改修を行う。

- ・平成31年度：基本計画完了



瓦木中学校現況

● 西宮型コミュニティ・スクール事業

新 規

H31予算

551千円

教育連携協議会を発展させ、西宮型コミュニティ・スクールとして、学校と地域社会が、目標を共有し、相互に補完しあいながら発展し続ける持続可能な制度の構築を目指します。

○事業内容

すべての市立学校において、育てたい子供像や目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けてともに協働していくコミュニティ・スクールの導入を進める。

- ・平成31年度：コミュニティ・スクールディレクターの配置、研修会の実施、リーフレットの作成等



中学校教育連携協議会の様子

● 留守家庭児童対策施設整備事業

継 続

H31予算

604,905千円

留守家庭児童育成センターの利用者が大幅に増加しており、これに対応するため、受入れ枠の拡大を進めています。

○事業内容

待機児童の解消や小学4年生の受入れ、環境整備などを図るため、留守家庭児童育成センターの整備・改修等を実施する。

- ・平成31年度：（新築工事）香櫨園留守家庭児童育成センターほか4箇所、（新築設計委託）樋ノ口留守家庭児童育成センターほか1箇所、（改修工事）瓦木小学校ほか1箇所、（改修設計委託）高須西留守家庭児童育成センター

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・448,794千円（H32）



工事中の留守家庭児童育成センター

● 放課後子供育成総合プラン推進事業

拡 充

H31予算

75,475千円

留守家庭児童育成センターの待機児童問題や児童館の偏在、放課後子供教室における地域の負担など、各放課後関連事業の課題解消に向けて各事業の役割の整理と体系化に基づく見直しを進めています。

○事業内容

各放課後関連事業の役割を整理するとともに体系化に基づく見直しを進め、全ての子どもたちが安心して、伸び伸びと過ごせる放課後の環境を整備する。

- ・平成31年度：子供の居場所づくり事業の新方式を2校でパイロット実施



子供の居場所づくり事業の様子

3. 福祉・健康・共生

● 助産師による産後ケア訪問等事業

拡 充

H31予算

13,473千円

妊娠期からの切れ目ない支援の一環として、産後も安心して子育てができるように、心身のケアが必要な産婦に対し、平成30年12月から開始した産後ケア訪問や妊産婦への窓口相談等の支援体制の構築を進めます。

○事業内容

概ね産後4か月までの母子に助産師が継続的に訪問（基本4回、上限7回）し、沐浴や授乳等の指導・援助と心のケアを行うことで育児不安を軽減する。

・平成31年度：北口・中央・鳴尾保健福祉センターに嘱託助産師配置

● 緊急通報救助事業（見守りホットライン事業）

拡 充

H31予算

15,288千円

日常生活で見守りが必要な高齢者等に対し、緊急通報機器を貸与しています。新たに事業者による見守り及び24時間健康相談や月1回の安否確認を加え、民生委員等の負担軽減や日常生活の不安解消に努めます。

○事業内容

高齢者世帯等における家庭内の事故等による通報に随時対応するための体制整備を行う。

● 西宮市共生型地域交流拠点運営等補助事業

継 続

H31予算

30,000千円

高齢期になっても自分らしい生活が出来るよう、多世代が集える場を開設し、生きがいつくりや社会参加を促進することで介護予防や地域福祉活動の推進につなげます。

○事業内容

市内各地域において、高齢者を中心に、障害者・児童・母子等分野を問わない常設の共生型地域交流拠点を設置し、多世代による地域福祉活動を推進する。

・平成31年度：2箇所新規開設



交流拠点の様子

● 障害者理解促進事業

新規

H31予算

3,464千円

障害者差別解消法の施行など、共生社会の実現に向けた法整備が進んでいますが、障害のある人の権利が十分に守られるためには、障害のある人に対する理解の促進が不可欠となっています。

○事業内容

市民が、障害の特性や障害のある人への必要な配慮を理解し、障害のある人への手助けができる「あいサポーター」の養成を行う。また、事業者等が、手すりを設置するなど、障害のある人への配慮を行ったときに、費用の助成を行う。



筆談ボードを用いた対応

● 福祉人材確保養成対策事業

拡充

H31予算

2,804千円

介護保険や障害福祉サービスの安定的な供給を図るため、これらのサービスに従事する人材の確保に向けた取組を進めています。

○事業内容

有資格者の復職を支援する「潜在介護福祉士等再就業支援事業」に加え、介護分野への就労を後押しする取組として「介護職員初任者研修受講費助成事業」を実施する。

● 生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業等の拡充

拡 充

H31予算

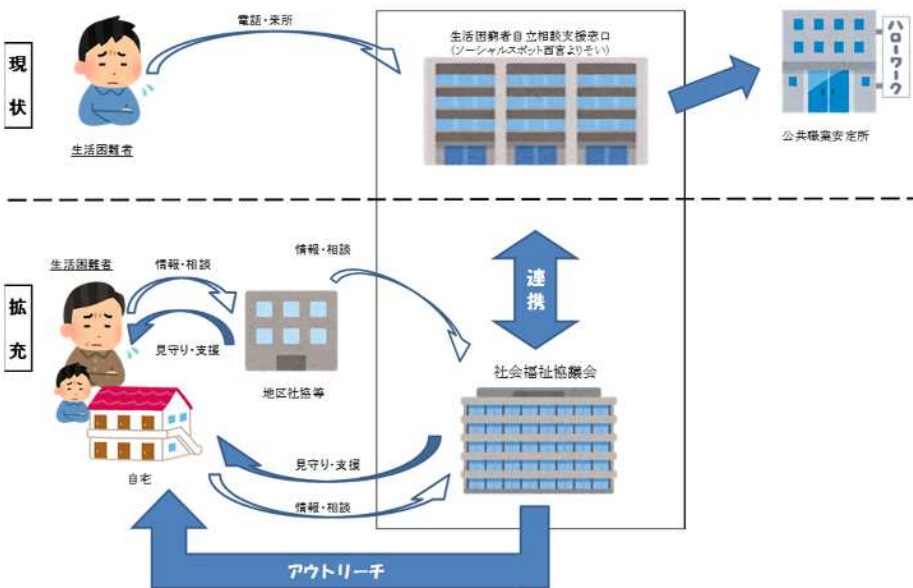
67,737千円

地域に埋もれ、社会的に孤立している生活困窮者は、自ら相談窓口まで来ることが難しいことから、アウトリーチにより潜在的な生活困窮者へのアプローチを行う必要があります。

また、自立支援の強化策として、求人開拓等の就労支援の充実を図ります。

○事業内容

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業及び就労準備支援事業を拡充する。



● 統合新病院整備事業

新 規

H31予算

8,500千円

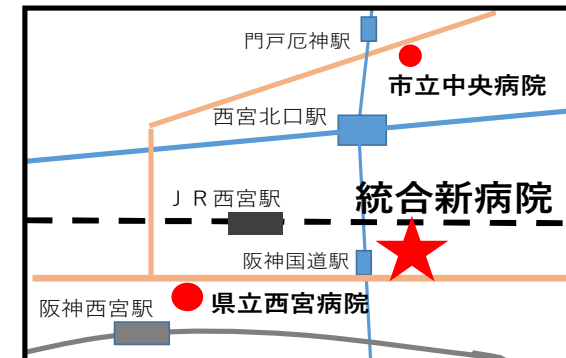
本市では市立と県立、二つの公立病院がそれぞれの役割を果たしていますが、両病院が抱える課題や高齢化の進展に伴い増加する医療需要への対応、小児・周産期医療の更なる充実、災害時の安定した医療の提供など本市の医療環境向上のため、病院の統合を目指した協議を県と進めてきました。

平成31年1月21日、統合に係る基本協定を締結、今後、統合新病院の早期開院に向けて計画づくりを進めていきます。

○事業内容

本市医療環境向上のため、市立中央病院と県立西宮病院の統合再編を行い、統合新病院をアサヒビール西宮工場跡地に整備する。平成31年度に県市協議のもと基本計画を策定する。また、中央病院跡地の活用方法について検討に着手する。

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】
・ 7,500千円（H32）



4. 都市の魅力・産業

● 市民ホール等改修事業

継 続

H31予算

255,367千円

アミティホール天井耐震化工事により休館する時期に合わせて、舞台照明設備の更新等を行うほか、老朽化したプレラホール固定座席を更新します。

○事業内容

市民ホール等の老朽化対策や機能向上を図るため、設備更新を行う。

- ・平成31年度：アミティホール舞台照明設備及び吊物機構更新工事、プレラホール固定座席更新工事



プレラホール現況

● 市民ホール管理運営基本計画検討業務

新 規

H31予算

5,000千円

老朽化したアミティホールの今後を検討するうえで、市内の市民ホール等の全体像やそれぞれの果たすべき役割、機能、管理のあり方などについての整理が必要です。

○事業内容

本庁舎周辺整備を検討するに当たり、市の文化振興の拠点施設としての市民ホールのあり方や必要な機能、運営方法などについて検討し、管理運営基本計画の策定を進める。

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・5,000千円（H32）



市民会館現況

● 新体育館・新陸上競技場等整備事業

継 続

H31予算

13,463千円

老朽化した中央体育館と陸上競技場を、現在の中央運動公園内において順次建替える検討を進めています。

○事業内容

老朽化した中央体育館と陸上競技場等について、総合スポーツ施設として整備することにより、市民のスポーツ活動を推進する。

- ・平成31年度：調査・アドバイザー業務委託等



中央体育館現況

● プレミアム付商品券事業

新 規

H31予算

575,072千円

消費税率の引き上げに合わせて、低所得者・子育て世帯へのプレミアム付商品券事業を実施します。

○事業内容

消費税率の引き上げによる、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的に、プレミアム付商品券事業を実施する。

● キャッシュレス化等対策事業

新 規

H31予算

3,000千円

消費税率の引き上げにあわせて国が講じる対策に対して、市内小規模事業者等への導入支援事業を行います。

○事業内容

消費税率の引き上げにあわせて国が講じる対策（軽減税率の導入、キャッシュレス化の推進）に対して、市内小規模事業者や商店街を対象とした次の支援事業を実施する。

- ・レジ等システムの導入・利活用支援事業
- ・商店街キャッシュレス決済導入促進支援事業

● 卸売市場再生整備事業

継 続

H31 予算

3,836 千円

施設の老朽化が進む卸売市場については、公設と民設の二つの卸売市場を統合し、現在地において、民設民営の新卸売市場の開設を支援します。

○事業内容

平成24年度策定の「西宮市卸売市場整備基本方針」に基づき、西宮市卸売市場再生整備に向けて、市場関係者とともに事業推進に取り組む。

- ・平成31年度：公設市場の廃止及び民設市場との統合、卸売市場新開設者法人開業等支援

5. 環境・都市基盤、安全・安心

● じんかい収集事業（委託地区の拡大）

拡 充

H31 予算

73,756千円

じんかい収集に係るトータルコストのさらなる削減を目指し、委託地区の拡大を実施します。

○事業内容

新たに国道2号以南の直営収集地域のうち大型じんかい車により収集を行っている大型集合住宅（反転式コンテナまたはドラム式貯留機が設置されている集合住宅）の収集業務を民間委託する。

● 西部工場解体整備事業

新 規

H31 予算

39,500千円

公共施設等適正管理推進事業債を活用し、閉鎖した清掃工場の解体に向けた取組を進めます。

○事業内容

平成24年度に施設を閉鎖した西部工場の解体を行う。
・平成31年度：各種調査業務、発注者支援業務

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

・9,800千円（H32）

● 自転車利用環境改善計画策定事業

新 規

H31 予算

5,000千円

適正な自転車走行区間や自転車駐車場の整備などのハード施策に加え、自転車利用ルールの周知やマナー向上などのソフト施策や観光などの新たな自転車利用の施策などについて、検討します。

○事業内容

安全・安心で快適な自転車利用環境を整備するため、自転車利用環境改善計画を策定する。

・平成31年度：パブリックコメント、計画策定



小曽根線の自転車道（現況）



小学校での自転車安全教室（市主催）

● 街路事業

継 続

H31予算

798,800千円

都市計画道路は、交通の円滑化、バス路線の強化・拡充、交通アクセスの充実、安全で快適な歩行空間の確保などに資するなど、必要性の高い個所から順次整備を進めています。また、平成31年度から都市計画道路の二次改築（リニューアル）についても、街路事業で取り組んでいきます。

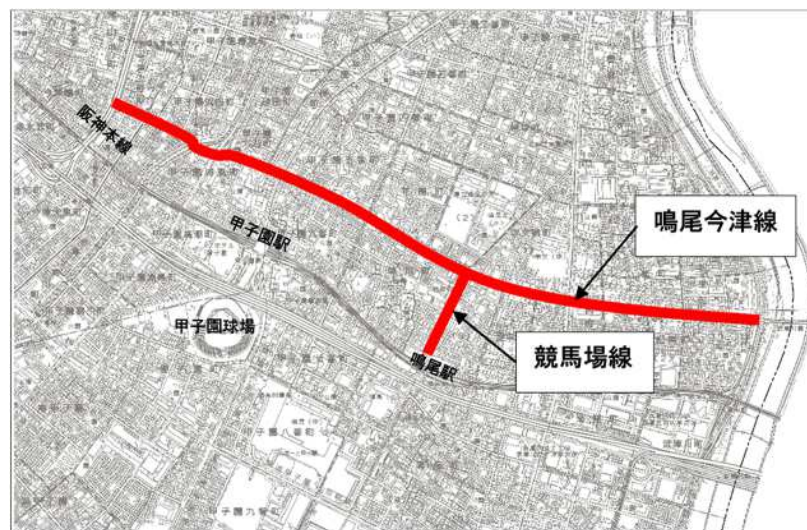
○事業内容

本市道路網の骨格を形成する都市計画道路の未整備区間の整備や老朽化区間の更新を図る。

- ・平成31年度：競馬場線（用地買収、道路改良工事等）、山手幹線（熊野工区）（用地買収、道路改良工事等）、門戸仁川線（予備設計）、鳴尾今津線（道路改良工事）

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

- ・221,006千円（H34）



● 阪急電鉄神戸本線連続立体交差検討事業

継 続

H31 予算

2,000千円

交通の円滑化や安全な通行を阻害している踏切を解消し、本市の課題である南北方向の道路の処理能力や公共交通の利便性の向上を図るよう、長期的なまちづくりの視点を踏まえた検討を行う必要があります。

○事業内容

阪急電鉄神戸本線の西宮北口駅から武庫川まで間の鉄道と道路の立体交差について、事業化に向けた必要な調査・検討を行う。

- ・平成31年度：予備調査

● 西宮市地域防災計画等改定事業

新規

H31予算

10,000千円

近年の大規模災害から得られた知見（避難所改善、災害時要援護者対策、女性の視点など）を踏まえて、新たに今後10年の防災・減災対策を定め、大規模災害等に備えます。

○事業内容

地域防災計画及び災害時職員行動マニュアルを実効性と運用性の高いものとするため、構成及び内容を大幅に見直して改定を行う。

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】
・20,000千円（H32-H33）

● 西宮市地域避難支援制度における補償制度構築事業

新規

H31予算

2,160千円

支援者への補償制度を構築することで、既存の避難支援団体を支援するとともに、新規登録を検討する地域の負担軽減を図ります。

○事業内容

西宮市地域避難支援制度で活動する支援者の補償制度を構築し、保険料分の補助を行う。

● 防災情報システム整備事業

継続

H31予算

90,786千円

第二庁舎(危機管理センター)の竣工に併せて運用を開始する防災情報システムは、市民、市職員、防災関係機関などとの情報共有を図る仕組みに重点をおいて、構築を進めていきます。

○事業内容

危機対応の重要項目とされる情報の収集、解析、配信について対災性、迅速性、効率性、継続性等の強化を図るため、防災情報システムを構築する。

・平成31年度：システム構築(実施設計)、既存設備移設ほか詳細設計、官公庁手続き調整



● 防災力強化事業

拡 充

H31予算

55,795千円

屋内で避難情報などを受け取ることができる緊急告知ラジオの購入助成率を3/4に引き上げ、普及を促進するとともに、防災行政無線の更新にあわせて、高性能スピーカーを導入し、聞こえにくさの改善を進めます。

○事業内容

第二庁舎（危機管理センター）が完成するまでにも発生し得る大規模災害への対応力を強化するため、現状のシステムや資機材等の整備を行う。

- ・平成31年度：情報通信機能の強化、
防災行政無線拡声子局機能改善工事ほか



新型スピーカー



緊急告知ラジオ

● 西宮消防署建替事業

継 続

H31予算

96,239千円

西宮消防署は築52年を経過し、老朽化、狭隘化が著しく、耐震性にも課題を抱えています。大規模災害時においても消防活動拠点としての機能を維持し消防業務を継続できるよう、建替えに向けた取組を進めています。

○事業内容

老朽化、狭隘化した消防庁舎を、西宮市の基幹消防署としてふさわしい庁舎に建替える。

- ・平成31年度：実施設計



建替え後のイメージ

6. 政策推進

● 市民館建替事業

新規

H31予算

7,710千円

市民館のうち、未耐震の施設を順次、建て替えることにより、施設の安全性を高め、指定避難所及び地域活動の拠点施設として活用していきます。

○事業内容

地域コミュニティの拠点施設である市民館について、未耐震の施設を順次建替えることにより、施設の安全性を高めるとともに地域活動の活性化を図る。

- ・平成31年度：大筒市民館（地質調査等委託）、
甲陽園市民館（アスベスト調査委託）



大筒市民館現況



甲陽園市民館現況

● (仮称) 越木岩センター整備事業

継続

H31予算

9,250千円

現在の越木岩公民館には、公民館、市民第2課の越木岩分室、老人憩いの家などの機能があるほか、中央図書館越木岩分室が隣接しています。未耐震の越木岩公民館の建替えに向けた検討を進めるとともに、建替えを契機として地域コミュニティの醸成に繋がるよう取り組みます。

○事業内容

未耐震である越木岩公民館を建て替え、本庁北西地域における行政サービスやコミュニティの中核となる施設を整備する。

- ・平成31年度：基本構想策定



越木岩公民館現況

● 業務効率化検討事業

新規

H31予算

20,000千円

業務を効率化し、限られた資源（人員・予算）を最大限活用する仕組みづくりに向けた検討を進めています。

○事業内容

庁内業務の効率化のため、全庁の業務を対象に業務内容や業務プロセス等を把握・分析し、改善に向けた検討を行う。平成31年度は、平成30年度に行った調査を基に問題点や課題を分析し、改善策を検討する。

● 建築系公共施設個別施設計画策定事業

新規

H31予算

14,960千円

持続可能な行政運営のため、公共施設マネジメントに取り組んでいます。

○事業内容

老朽化が進む建築系公共施設が、今後、次々に更新時期を迎えることから、財政負担の平準化やトータルコストの縮減を図るため、長寿命化によるもののほか、集約化や複合化、転用、廃止など施設の特性に応じた保全・再編に関する計画（策定済みのものを除く）を平成32年度にかけて策定する。

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

・ 5,940千円（H32）

● 第二庁舎（危機管理センター）整備事業

継続

H31予算

1,935,918千円

西宮市の防災・危機管理の中核拠点として、災害時の初動対応を担う部署を集約し、自然災害のほか様々な危機事案に対応する高度な耐震性能と高い安全性を備えた庁舎の整備を進めています。

○事業内容

危機管理体制の強化とあわせ、老朽化や耐震面において喫緊の課題を抱えた庁舎の建替え更新と機能の集約化を同時に実現するため第二庁舎（危機管理センター）を整備する。

・平成31年度：建設工事

【当該事業における債務負担行為の設定：限度額（期間）】

・ 209,650千円（H32-H33）



第二庁舎（危機管理センター）イメージ

● システム操作自動化ツール（RPA）導入による業務改善事業

新規

H31予算

5,010千円

業務を効率化し、限られた資源（人員・予算）を最大限活用する仕組みづくりに向けた検討を進めています。

○事業内容

ICT（情報通信技術）の活用により業務の効率化を図ることを目的として、システム操作自動化ツール（RPA）を効果が期待できる定型的な業務に導入する。